

教科 Subject	音楽科		科目 Course	音楽	学年 Grade	1	単位数 Credits	2	
教科書 Textbook	教育出版「音楽のおくりもの」			副教材 Additional Text /materials	音楽の鑑賞資料と基礎学習				
科目の目標 Course Objectives		音楽への興味、関心を養い、創造的に表現する能力や音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度、心を育てる。							
評価の基準 Assessment Standards		定期試験=80%、実技試験=20% 忘れ物等は関心・意欲・態度の観点より減点、ヴァイオリンは表現の技能へ加算する。							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	校歌		校歌の意味を正しく理解し、メロディーを覚える。 正確な歌詞の発音を習得する。 Ipadを使用し、楽譜への書き込みを体験する。【ICT】				
		2							
		3							
	5	4	校歌、音楽記号（英語）		校歌の暗記、筆記の練習。 音符・休符などの音楽記号（英語）を学習する。 ヴァイオリンについて学ぶ。				
		5	鑑賞						
	6	7	6	校歌		繰り返し校歌を歌い、英語の歌詞や発音に慣れ親しむ。 キーボードアプリを用い、校歌を演奏体験する。【ICT】			
			8	音楽の基礎理論		音楽の基礎理論の学習。楽譜に出てくる様々な 音楽の基礎的な理論について、正しく理解する。			
9									
7	11	10	1学期のまとめ		期末テストの対策、試験後の復習。				
		12							
2 学期	9	13	鑑賞		様々な楽器の名前を英語で学習、オーケストラの仕組みや 各パートの役割について学ぶ。「ラヴェル作曲/ボレロ」 楽器製作に関連した、限りある資源について学ぶ。【SGH】				
		14	「オーケストラの楽器」						
		15	合唱		合唱曲の歌詞の意味を理解。Ipad楽譜に書き込む。【ICT】				
		16							
	10	17	17	合唱		英語の合唱曲（合唱コンクール）を習得する。楽しみながら歌 を作り上げていく過程で指揮者・ピアニストを中心に、パート 別自主練習を行うなどクラスの団結力を養う。【SGH】			
			18						
		19							
	11	21	20			Ipadキーボードアプリを使用し、パート練習を強化。【ICT】			
			21	合唱		英語の発音、楽譜の記譜法を理解し、音楽的な構成と 効果的な演出を考えながら、クラス独自のスタイルで 合唱曲を仕上げる。 【SGH】			
			22						
12	25	23							
		24							
		25	音楽理論の学習、期末試験準備・楽器名の復習		2学期に学習した内容をしっかり復習し、期末テストに備え る。				
3 学期	1	26	ヴァイオリン		ヴァイオリンコンサートへの練習。 練習曲の暗譜、フィンガリングの確認。 「スメタナ作曲/交響詩”我が祖国”より『モルダウ』				
		27	鑑賞						
		28							
	2	30	29	ヴァイオリン		合奏力の強化、ステージでの正しいマナーなどを身につける。			
			31	音楽理論の学習					
		32			速度記号・強弱記号・反復記号など楽譜上でよく使われる記号 について復習しつつ、正しく理解する。				
	3	34	33						
			34	1年間の復習		1年間に習得した音楽理論の総復習。音楽の基礎をしっかり押さえると ともに、さらに発展した理論への導入とする。			
		35							

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

中学課程に入って最初の音楽です。英語での記号名、英語の校歌、英語の合唱曲、ヴァイオリンなど、名古屋国際中学校ならではの授業内容となっています。まずはこの1年間しっかりと学び、音楽の基礎を身につけましょう。音楽をする上で必要な「楽譜」にはどんな記号が入っていて、それぞれがどんな意味なのかを理解します。2学期の合唱コンクールでは英語の合唱曲に取り組み、クラスの団結力を高めます。3学期には、ヴァイオリンコンサートという発表会があり、アンサンブルやステージマナーを学びます。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	Violin	学年 Grade	1	単位数 Credits	2	
教科書 Textbook	鈴木教本 1巻			副教材 Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives		ヴァイオリンの基礎知識、演奏における基礎的な能力を習得させる。							
評価の基準 Assessment Standards		実技試験=100% 「表現の技能」へ加点。授業への姿勢・意欲は「関心・意欲・態度」へ加点・減点。							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	ヴァイオリンの基礎知識		ヴァイオリンの基礎知識、扱い方、手入れの方法を学ぶ。姿勢、楽器の持ち方、弓の持ち方を覚える。				
		2							
		3							
	5	4	ヴァイオリンの基礎知識		正しいボーイング法を習得する。左手の指の形を覚える。ヴァイオリンの原材料や工法を知り、地球の限りある資源について考える。(ESD)				
		5							
	6	7	7	A Major Scale		技術的基礎となるイ長調の音階を学習し、演奏することの楽しさを感じ取る。			
			8						
9									
7	11	10	A Major Scale		様々なリズムを取り入れ、右手でリズムを作ることを覚える。				
		11							
2 学期	9	12	きらきら星		きらきら星の練習。				
		13			いろいろなリズムのボウイングを学習する。				
		14							
		15							
	10	17	16	きらきら星		きらきら星の復習。			
			17			いろいろなリズムのボウイングを暗譜し、曲を演奏する楽しさを感じ取る。			
			18						
			19						
	11	21	20	アレグロ		アレグロの練習。			
			21			スタッカートとレガートを学習する。			
			22						
			23						
12	25	24	かすみか雲か		かすみか雲かを練習し、完成させる。				
		25			演奏に強弱をつける。				
3 学期	1	26	ロングロングアゴー		新たにD線の演奏を学習、D線特有の深みのある音色を感じ取る。				
		27							
		28							
	2	30	29	楽しい朝		D Majorの学習、響きや指のポジションの違いを学習する。			
			30			ロングロングアゴー・楽しい朝の2曲を暗譜し、ヴァイオリンコンサートへ向けた準備・練習をする。			
			31						
	3	34	32	ロングロングアゴー・楽しい朝		ステージマナーの説明。ステージ上で演奏することにより、緊張感や充実感を感じ取る。			
			33						
			34	ステージ練習					

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

ほとんどの皆さんが、ヴァイオリンの音色を聴いた事はあっても、自分で手に取り、音を奏でるという経験は初めての事でしょう。ヴァイオリンは、他の楽器とは違い、自分自身で音程をとり、美しい音色を奏でなければなりません。始めのうちは、それが難しいと感じるかもしれませんが、努力をすればたったの一年で「キラキラ星」をはじめ、様々な曲を演奏する事が出来るようになります。ヴァイオリンを授業で学ぶという事は他校ではなかなか出来ない貴重な経験です。限られた時間で集中して練習し、まずは1年生の間に演奏の基礎を習得しましょう。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	音楽	学年 Grade	2	単位数 Credits	1
教科書 Textbook	教育出版「音楽のおくりもの」			副教材 Additional Text /materials	音楽の鑑賞資料と基礎学習			
科目の目標 Course Objectives			音楽を愛好する心情を育てるとともに完成を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験=80%、実技試験=20% 忘れ物等は関心・意欲・態度の観点より減点、ヴァイオリンは表現の技能へ加点する。					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	音楽鑑賞			「ムソルグスキー／展覧会の絵」を鑑賞。作曲の背景、ガルトマンの絵画との結びつきを学習。音楽から絵画を連想し、語学研修博物館訪問に関連付け、芸術世界の広さを感じさせる。 (ESD)		
		2						
		3						
	5	4	音楽理論			音楽理論—様々な調号を理解する。 調性が変わることによって、曲のイメージ（雰囲気）が変わる事を感じ取る。		
		5						
		6						
	6	7	音楽理論2			楽譜の書き方、注意事項を学ぶ。写譜の技術を向上させ、楽譜の読み・書きを学習する。		
8								
9								
7	10	1学期のまとめ			理論の復習、期末試験を復習する。学習内容を定着させる。			
	11							
2 学期	9	12	オーケストラの楽器 鑑賞 合唱			様々な楽器の名前を英語で学習、オーケストラの仕組みを学ぶ。（鑑賞）「ホルスト作曲／惑星」オーケストラへの興味を持たせるとともに楽器名を習得。作曲の背景を知り、他国の文化や思想に触れる。合唱曲譜読み・歌詞の意味を理解する。 (ESD)		
		13						
		14						
		15						
	10	16	合唱			合唱曲（合唱コンクール）の練習。まず自分のパートを習得した後、歌いながらお互いの旋律を聴きあい、和音の響きを楽しみながら歌うことを目標とする。 Ipadを使用し、楽譜に書き込みをおこなう。【ICT】		
		17						
		18						
		19						
11	20	合唱			合唱曲（合唱コンクール）の練習。曲が作られた背景などを学習。他国の文化・歴史とともに理解し、鑑賞する。（ESD） クラスの団結力を養い、音楽性の向上を図る。Ipadキーボードアプリを使用し、各パート練習を強化する。【ICT】			
	21							
	22							
12	23	2学期のまとめ			音楽理論（反復記号）の復習、期末試験の準備。			
	24							
3 学期	1	25	鑑賞 ヴァイオリン			「L.V.ベートーヴェン作曲／交響曲第5番」を学習する。 誰もが知る有名曲が作られた背景、ソナタ形式について学ぶ。（ESD） ヴァイオリンコンサートのための準備。 楽器演奏を通じ、自己表現力を磨く。 フィンガリングの定着と個人の演奏技術向上。		
		26						
		27						
	2	28	ヴァイオリン			単なる技術向上にとどまらず、ヴァイオリン合奏を通じ、クラスの団結力を強め、協調性を学び身につける。		
		29						
		30						
	3	31	総合復習			学年末テストの復習。弱点を克服する。		
32								
		33						
		34						
		35						

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

2年生では、音楽の授業が週2→週1回に変わり、音楽授業とヴァイオリン授業が隔週で行われます。音楽ではより専門的な分野、例えば調号の仕組みや様々な調性と音階を理解していきます。鑑賞の分野においても、より有名な難曲について知識を深めていきます。また、恒例の音楽行事として、2学期では合唱コンクール、3学期にはヴァイオリンコンサートが行われます。ヴァイオリン習得2年目で、前年よりも難度の高い曲にチャレンジします。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	Violin	学年 Grade	2	単位数 Credits	1	
教科書 Textbook	鈴木教本1巻			副教材 Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives			様々な曲に取り組み、演奏のレパートリーを増やす。引き続き基礎を学ぶ。						
評価の基準 Assessment Standards			実技試験=100% 「表現の技能」へ加点。授業への姿勢・意欲は「関心・意欲・態度」へ加点・減点。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	アレグレット			弓の使い方（リズム・スラー・強弱等様々な表現をするためのボーイング奏法）を学ぶ。			
		2							
		3							
	5	6	4	アレグレット			左指を速く動かす訓練。		
			5	無窮動			同時に右手の移弦の練習にもなる。		
			6						
			7	無窮動			速いテンポの曲を練習することにより、全ての弦の音を俊敏に鳴らせるようにする。 また、より芯のある音を鳴らすことを目指す。		
7	12	11	無窮動			移弦を多々要する曲にも右腕が柔らかく瞬時にしなやかに対応できるようにする。			
		12							
2 学期	9	13	習作			左指の訓練。			
		14				移弦を含むスラー奏法の習得。			
		15							
		16							
	10	20	17	習作			転調、臨時記号の奏法を覚える。		
			18				フレージングを感じ、メロディーが自然に美しく流れる様に。		
			19						
			20						
11	24	21	メヌエット第1番			転調、臨時記号の奏法を覚える。			
		22				フレージングを感じ、メロディーが自然に美しく流れる様に。			
		23							
		24							
12	26	25	メヌエット第1番			ト長調の手の形を覚える。			
		26				スタッカート付きのスラー奏法の習得。			
3 学期	1	27	メヌエット第1番			曲の構成、フレーズ等を感じ取る。			
		28							
		29							
	2	33	30	メヌエット第1番			合奏する事によりハーモニーの美しさを感じ取る。		
			31						
			32						
			33						
	3	35	34	メヌエット第1番			violin発表会。ステージ上で演奏することにより、緊張感や充実感を感じ取る。		
			35	ステージ練習					

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

昨年度で、ほとんどの皆さんがヴァイオリンの基礎を習得する事ができたと思います。2年生はその基礎を元に、演奏出来る曲のレパートリーを増やすためのさらなるテクニックを身に付けていきます。テクニックや基礎知識で疑問点があるならば、そのままにせず、授業中に積極的に質問して下さい。今年度は、ヴァイオリンの授業数が昨年度の半分になります。限られた時間内にいかに集中して練習出来るかが、今後の上達に深く関係していくでしょう。年度末のヴァイオリンコンサートに向けて努力し、その成果を出せる様に頑張ってください。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	音楽	学年 Grade	3	単位数 Credits	1
教科書 Textbook	教育出版「音楽のおくりもの」			副教材 Additional Text /materials	音楽の鑑賞資料と基礎学習			
科目の目標 Course Objectives			音楽を愛好する心情を育てるとともに完成を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。					
評価の基準 Assessment Standards			定期試験=80%、実技試験=20% 忘れ物等は関心・意欲・態度の観点より減点。ヴァイオリンは表現の技能へ加点する。					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	音楽の多様性			音楽における分野の多様性を学習する。「G.ビゼー作曲 オペラ”カルメン”」有名なアリアを鑑賞。オペラの基礎知識 や、時代と他国の文化との密接な関わりを学習する。(ESD)		
		2	オペラの世界					
		3						
	5	4	(ロンドン語学研修のため授業なし)					
		5						
	6	6						
	7	7	音楽理論					
6	8							
	9							
7	10							
	11	1学期のまとめ			理論の復習、期末試験を復習する。学習内容を定着させる。			
12	12							
	13	鑑賞			20世紀に作られた、日本を題材にした有名なオペラから アリアを鑑賞する。「G.プッチーニ作曲 オペラ”蝶々夫人”」 オペラやオーケストラへの興味を更に深める。(ESD) 合唱曲譜読み・歌詞の意味を理解しながら歌う。  「We are the world」がどのような経緯でレコーディングされ たのか、背景について学ぶ。アフリカの飢餓について知り、 この飢餓救済プロジェクトが具体的にどのような内容か、我々 に今できることは何かを考え、各々の答えを導き出す。(ESD)  英語の合唱曲(合唱コンクール) Ipad楽譜・キーボードアプリ を使用し各パート練習を強化する。【ICT】→4部合唱の練習。 歌詞の内容、意味を理解する。歌いながらお互いの旋律を同時 に聴き、異なる音の響き合う様を楽しむ事を目標とする。  音楽理論(反復記号)の復習、期末試験の準備。			
9	14	合唱						
	15							
	16							
10	17	合唱						
	18							
11	19							
	20							
	21	合唱						
	22							
12	23							
	24							
	25	2学期のまとめ						
	26							
3 学期	1	27	鑑賞			イタリアオペラ「G.プッチーニ/オペラ”トゥーランドット”」より、 有名なアリアを鑑賞。オペラへの興味と知識を更に深める。(ESD) バイオリンコンサートのための準備。楽器演奏を通じ自己表現を豊かに する。 バイオリンコンサートのための準備。 個人演奏技術の向上だけにとどまらず、 クラス全体の結束力を深めながら、協調性について学び 音楽を作りあげる。  学年末試験を復習すると共に、3年間学習してきた楽典を応用 できるようにする。		
		28	ヴァイオリン					
		29						
	2	30	ヴァイオリン					
		31						
		32						
	3	33						
		34	総合復習					
		35						

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

有名なオペラ・ポップスなど、より幅広いジャンルの音楽に触れていきます。また、理論の授業では3年間で養わなければならない音楽の基礎をしっかりと固めていきます。まず1学期はオペラの発祥と発展を学び、DVD鑑賞。2学期以降はクラシックの分野でも特にリマーカーブルな作品、斬新な作品を扱っていきます。理論の分野では和音の仕組みについて勉強し、知識を深めます。恒例の合唱コンクール、ヴァイオリンコンサートはいよいよ今年で最後です。3年間の集大成、楽しみつつ最高のパフォーマンスにしましょう。

教科 Subject	音楽科		科目 Course	Violin	学年 Grade	3	単位数 Credits	1	
教科書 Textbook	鈴木教本1巻、2巻			副教材 Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives			合奏法を学ぶ事で、仲間と共に演奏する楽しさ、弦楽器特有のハーモニーを感じ取る。						
評価の基準 Assessment Standards			実技試験=100% 「表現の技能」へ加点。授業への姿勢・意欲は「関心・意欲・態度」へ加点・減点。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	メヌエット第2番 (バッハ)			ト長調音階の習得。 複数音の移弦を伴うスラー、レガート奏法の練習。 臨時記号の理解とそれに伴う左手の習得。			
		2							
		3							
	5	4	メヌエット第2番 (バッハ)			in tempoで演奏出来る様にする。曲に抑揚をつける。			
		5							
	6	7	6	メヌエット第2番 (バッハ)			曲全体を通して練習し、曲調によって楽しく演奏できるようにする。		
			8						
9									
7	11	10	メヌエット第2番 (バッハ)			曲に慣れ、楽しみながら演奏出来るようにする。			
		12							
2 学期	9	13	メヌエット第3番 (バッハ)			ト長調音階の習得。 複数音の移弦を伴うスラー奏法の復習練習。			
		14							
		15							
		16							
	10	17	17	メヌエット第3番 (バッハ)			曲の強弱、フレーズ感を感じ取って表現する。 抑揚に気をつける。		
			18						
			19						
			20						
11	21	21	メヌエット第3番 (バッハ)			逆さ弓練習法などを用い、より良い弓の持ち方を習得させる。 In Tempoで演奏できるようにする。			
		22							
		23							
		24							
12	25	25	メヌエット第3番 (バッハ)			臨時記号の音程を正確に演奏できるようにする。 ハーモニーの美しさを感じ取る。			
		26							
3 学期	1	27	海に見える街			臨時記号音 (新しいポジションの導入) の確認。 沢山の音符が連なり移弦や臨時記号も多いが、ひとつずつ確実に音読みをして今まで得てきた技術のさらなる向上を計る。			
		28							
		29							
	2	30	30	海に見える街			テンポを上げ、曲の流れやハーモニーの美しさを感じ取る。		
			31						
			32						
	3	34	33	海に見える街			violin発表会。ステージ上で演奏する事により、人前で演奏する時の緊張感、達成感、充実感を覚える。		
			34						
			35						

#### 履修者へのメッセージ Message for Students

今まで2年間、ヴァイオリンの基礎を学び、そろそろ演奏する事の楽しさを感じられるようになってきたのではないのでしょうか？3年生では、勿論クラシックの曲も学びますが、それだけに囚われず、ポップス音楽など、様々なジャンルの曲に挑戦していきます。その為には、ピッチカートやトゥリル、和音奏法など、新たなテクニックも要します。限られた時間の中で、いかに集中して練習し、それらを身に付けていけるかがさらなる上達の鍵となるでしょう。ヴァイオリンコンサートでの皆さんの3年間の集大成を期待しています。